

【部課名： 危機管理課 】

事業名		事業目的/概要		総合計画の指標			取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
安全・安心なまちづくり連携活動事業		地域住民と行政が連携し、重点分野（交通安全、子どもの安全、高齢者の安全、自殺予防、犯罪防止、災害安全）における課題解決と地域コミュニティの活性化に取り組む。		指標	総計の現状値	R7実績値	市民、市民団体構成委員、行政機関職員など、様々な立場の委員が参画する分野別対策委員会において、地域の安全・安心に資する活動を実施した。 具体的には、通勤やランニングなど日常生活の延長で市内をパトロールする「ながら見守り」の推進、防災イベント等の来場者に配布するためのノベルティの作成などに取り組んだ。	コロナ禍以降、書面開催が普及し、委員等の負担軽減に繋がった。 一方で、書面開催により、委員からの積極的な意見を汲み取ることが難しいこと、近年は活動内容が恒常化していることから、会議体について、今後のあり方を検討する必要がある。
総合計画の位置づけ				自助を促進するためのノベルティ配布個数	3000	2351		
基本目標	安全・安心を一人ひとりが考えみんなでつくりあげるまち							
個別目標	みんなで共につくる災害に強い安心なまち	事業費（うち市負担額）【千円】						
		R6決算額	3,364	(3,364)				
個別目標の方向性	自らのことは自ら守る「自助」の意識を浸透させるため多種多様な啓発活動を行います	R7決算見込額	2,295	(2,295)				
		R8予算額	2,928	(2,928)				
事業名		事業目的/概要		総合計画の指標			取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
防災訓練事業		防災訓練や防災イベントを通じ、住民、自主防災組織、民間企業、行政機関等の災害対応力と、それぞれとの連携体制を強化する。		指標	総計の現状値	R7実績値	こども園と連携した津波避難訓練や外国人向けの避難訓練、妊産婦世帯を対象とした宿泊付き避難所体験会など、多様な切り口で訓練等を実施した。 これらによって、市民の防災意識を高めるとともに、市民団体や民間企業との「顔の見える関係」の強化に繋がった。	学校等で実施する従来型の防災訓練は、参加者が自治会員等に限られ、若い世代を中心とした無関心層が参加しない課題がある。 幅広い世代の住民が、防災に関心を持ち、備えに取り組めるよう、今後も「子育て」「遊び」「体験」などの要素を取り入れながら、訓練等を企画運営する必要がある。
総合計画の位置づけ				市が地域団体等と連携した防災訓練やイベント等の回数（累計）	10	12		
基本目標	安全・安心を一人ひとりが考えみんなでつくりあげるまち							
個別目標	みんなで共につくる災害に強い安心なまち	事業費（うち市負担額）【千円】						
		R6決算額	3,026	(3,026)				
個別目標の方向性	関係機関や地域コミュニティと連携し、「共助」の仕組みを強化します	R7決算見込額	2,729	(2,729)				
		R8予算額	2,483	(2,483)				
事業名		事業目的/概要		総合計画の指標			取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
自主防災組織活動支援事業		地域防災力の向上のため、自主防災組織の結成・活動を支援する。 具体的には、活動促進のための補助金交付（年間4万円を上限、対象経費の2分の1）や、未結成地域への防災資機材提供（世帯数に応じて20～30万円を上限）を行う。		指標	総計の現状値	R7実績値	食糧や防災資機材等の備蓄整備や防災訓練の実施など、自主防災組織の活動を支援したことで、地域における防災力の向上に繋がった。	前年度に実績のなかった自主防災組織2団体が新たに補助を活用した一方で、指標の実績値は前年度（43%）よりも低かった。 そのため、総会や出前講座、訓練などの機会において、補助制度をさらに周知する必要がある。
総合計画の位置づけ				自主防災組織支援補助を活用した自主防災組織の割合	51	31		
基本目標	安全・安心を一人ひとりが考えみんなでつくりあげるまち							
個別目標	みんなで共につくる災害に強い安心なまち	事業費（うち市負担額）【千円】						
		R6決算額	1,781	(881)				
個別目標の方向性	関係機関や地域コミュニティと連携し、「共助」の仕組みを強化します	R7決算見込額	693	(693)				
		R8予算額	2,400	(400)				